

小平中央リハビリテーション病院 コロナ禍での臨床実習生受け入れマニュアル

1. はじめに

当院では 2021 年度より感染対策を実施しつつ実習生の受け入れを開始することとします。以下に受け入れ基準や方法を挙げます。

2. リハビリテーション科全体の受け入れマニュアル（学生さん向け）

- ① 医療職、または医療志願者であるという高い意識をもった行動に努めましょう。
- ② 実習 2 週間前から 3 密を避け不要不急の外出は控えてください。
- ③ 実習 2 週間前から【**体調管理シート**】（**学校指定又は当院指定**）を記録し実習初日に提出してください。
- ④ 実習 3 日前～前日までの、【**PCR 検査**】の結果を実習初日に提出してください。
- ⑤ 【**体調管理シート**】（当院指定）は、毎日記録し提出してください。少しでも感冒症状がある場合は、大事を取りお休みとします。
- ⑥ 【**院内での行動記録表**】を毎日記入し、バイザーに報告してください。関わった患者様・スタッフがわかるように記入してください。
- ⑦ 当院への通勤時～帰宅まで（更衣室を含め）、常にマスク（なるべく不織布マスク）を着用してください。
- ⑧ 実習内での患者様対応時は、フェイスシールドを装着してください。
（フェイスシールドはご用意をお願い致します）
- ⑨ 昼食時は、他者と距離をとり、会話はしないでください。食事場所はこちらから指定します。
- ⑩ 以下の事態になったときは実習を中止します。
 - ・ 緊急事態宣言が出されたとき
 - ・ 実習生がコロナウイルスに感染もしくはその疑いがあるとき
 - ・ 実習生の同居者がコロナウイルスに感染もしくはその疑いがあるとき
 - ・ 実習生または同居者がコロナウイルス感染者との濃厚接触が疑われるとき
 - ・ 実習の継続により、感染の危険性を回避できないと予測されるとき
 - ・ 当院内でクラスター感染が発生したとき

3. コロナ禍での実習受け入れに関する取り決め（主にスタッフ向け）

- ① 「2. リハビリテーション科全体の受け入れマニュアル（学生さん向け）」を掲げ実習生を受け入れる以上、我々セラピスト模範となりましょう。普段の生活から感染管理を常に意識し生活しましょう。
- ② 全学生さんに対し、実習初日にリハビリテーション科所属長（又は、副所属長）が感染管理マニュアルを20分間で説明する機会を持つ。
- ③ 学生さんの【体調管理シート】（当院指定）と【院内での行動記録表】を毎日チェックし、少しでも感冒症状がある時は休ませるよう配慮する。
- ④ フィードバックは短時間で距離を取って行う。（週45時間ルールに則る。）
- ⑤ フィードバック時は、第二会議室や第二リハ室、当直室、第三診察室を使用する。
→ミーティングとフィードバックは同室で可能。リハビリとは被らないように。
- ⑥ コロナ対応中の入院当日は患者様の学生見学は行わない。
- ⑦ 1患者様につき、見学は1人までとする。（新人見学含む）
- ⑧ 家屋評価の見学は行わない。（緊急事態宣言中）
- ⑨ 学生さんの行動範囲は、基本的に担当スタッフに準ずる。
- ⑩ 実習地訪問はZOOMにて行う。
- ⑪ 消毒液は学生用を持ち歩き、実習中はロッカー管理とする。
- ⑫ 原則学生の昼食は、12時から12時30分間に密にならないように、食堂または第2リハビリ室でとり、黙食とする。12時30分から13時30分は第2リハビリ室で自習とする。

4. おわりに

感染管理を徹底し、学生さんにもリハスタッフにも、患者様にもメリットとなるような臨床の場・臨床教育の場を作っていきましょう。

2022年5月25日改訂